

【楽天・楽天ペイ】(受注取得API)WEB SERVICEのライセンスキー更新方法

【楽天】(楽天 受注取得API)ライセンスキー更新方法



【1】 楽天RMSにログインし、[店舗様向け情報・サービス]をクリックします。



【2】 [WEB APIサービス]をクリックします。

1 サービス

1-1 サービス一覧

1-2 申込、利用規約確認

1-3 API活用例

1-4 API活用例(楽天ペイ)

2 利用設定

2-1 WEB API **3**

3 サポート

3-1 楽天からのお知らせ

3-2 お問い合わせ

3-3 テスト店舗利用申請

3-4 障害情報(試験運用中)

RMS WEB SERVICEのご利用について

- RMS WEB SERVICE (店舗様向けWEB APIサービス) の概要についてはこちらの店舗マニュアルをご参照ください。
- 無料でご利用いただけます。ただし商品APIのご利用については商品一括登録サービスのお申込が必要です。
- ご利用開始される場合は、レフトナビ「1-2 申込、利用規約確認」からお申込後、「2-1 WEB API」にて利用APIを選択してください。利用開始手順の詳細はこちらの店舗マニュアルをご参照ください。

RMS WEB SERVICE

RMS WEB SERVICE サービスリファレンス

※1: SKUプロジェクト対応に伴い、新規APIの追加や、項目の追加、既存項目の修正が行われる機能です。SKUプロジェクトによるAPIの切替についての注意点はこちら。

商品・画像管理

API名		説明
商品API	商品API 2.0 (ItemAPI 2.0) ※1	商品情報の取得・登録・更新・削除を行う機能です。 ※SKU移行後店舗様向け
	商品API (ItemAPI)	商品情報の取得・登録・更新・削除を行う機能です。
カテゴリAPI	カテゴリAPI 2.0 (CategoryAPI 2.0) ※1	カテゴリ情報やカテゴリツリー情報の取得・登録・更新や、商品とカテゴリの紐づけの登録・更新・解除を行う機能です。 ※SKU移行後店舗様向け

【3】 [利用設定]の[WEB API]をクリックします。

1 サービス

1-1 サービス一覧

1-2 申込、利用規約確認

1-3 API活用例

1-4 API活用例(楽天ペイ)

2 利用設定

2-1 WEB API **4**

3 サポート

利用設定

利用情報

※serviceSecret及びlicenseKeyは、弊社固有の認証情報です。外部に漏らさない様、管理をお願いします。

・利用機能の追加や解除をした後は、最新のライセンスキーと過去のライセンスキーで利用可能な機能が異なります。過去のキーを停止し、最新のライセンスキーを利用することを推奨いたします。

最新の利用情報

項目	キー情報	有効期限	状態	詳細
serviceSecret	末尾4桁: [マスク]	-	-	-
licenseKey	末尾4桁: [マスク] ※全桁を確認するには「ライセンスキーの確認・変更」より行ってください。	2022/12/25	利用可能	4 ライセンスキーの確認・変更

過去の利用情報

過去のライセンスキー、有効期限、状態、利用可能な機能を確認することができます。下のライセンスキーを選択してください。

【4】 利用情報の[ライセンスキーの確認・変更]をクリックします。

1 サービス

1-1 サービス一覧

1-2 申込、利用規約確認

1-3 API活用例

1-4 API活用例(楽天ペイ)

2 利用設定

2-1 WEB API

3 サポート

3-1 楽天からのお知らせ

3-2 お問い合わせ

3-3 テスト店舗利用申請

3-4 障害情報(試験運用中)

ライセンス情報

基本情報

キー情報	有効期限	状態
末尾4桁: [マスク]	2024/12/03	利用可能

licenseKeyの詳細を表示する場合には、チェックボックスを選択し、「確認する」ボタンを押して下さい。

セキュリティチェック (必須)

ロボットによる操作ではありません

不正対策のために、画面の操作がロボットではなく、お客様自身によるものであることを確認する項目です。

戻る
5 [確認する](#)

▶ ページの上部に戻る

【5】 『ロボットによる操作ではありません』にチェックを入れ、[確認する]をクリックします。

1 サービス

1-1 サービス一覧

1-2 申込、利用規約確認

1-3 API活用例

1-4 API活用例(楽天ペイ)

2 利用設定

ライセンス情報

基本情報

キー情報	有効期限	状態
[マスク]	2022/12/25	利用可能

「利用停止」ボタンを押すとlicenseKeyが利用できなくなります。

戻る

6 [新しいライセンスキーを発行](#)

利用中のAPIリスト

【6】 [新しいライセンスキーを発行]をクリックします。
表示されたライセンスキーはコピーまたは印刷して保存して下さい。



7

【7】GoQSystemの受注管理にログインして[各種設定]をクリックします。

ホーム 契約者情報 配達業者設定 モール選択 支払い方法 **モール詳細設定** 8 配送伝票 その他設定 オプション設定

GoQSystem初期設定

初期設定ウィザード

動画マニュアルはこちら

 契約者情報 ご契約者様の基本情報の編集が行えます	 配達業者設定 商品の配送に利用する業者の選択を行います	 モール選択 利用するモールの選択を行います	 支払い方法 利用可能な支払方法の設定を行います
 モール詳細設定 設定した出店モールの基本設定を行います	 モール配送伝票 各店舗ごとの配送伝票の設定を行います	 その他設定 利用するモールに関するツールなどの設定を行います	 オプション設定 拡張サービスの設定を行います

【8】[モール詳細設定]をクリックします。

ホーム 契約者情報 配達業者設定 モール選択 支払い方法 **モール詳細設定** モール配送伝票 その他設定 オプション設定

モール詳細設定

設定した出店モールの基本設定を行います。

動画マニュアルはこちら

※各出店モールの詳細設定を行います。設定するモールを選択して、それぞれ設定してください。

出店中のモール一覧

Wowma!		



- 【9】WEB APIを利用している楽天店舗をクリックします。
- 【10】【5】で表示されたライセンスキーをコピーし、貼り付けて下さい。
- 【11】[設定を保存して次へ進む]をクリックします。

ライセンスキーを変更してから10分から30分は楽天側の仕様で取得や注文確認ができない場合がございます。時間をおいて再度取得・注文確認をお願いいたします。

以上の方法で楽天WEB APIのライセンスキーが更新できます。

ライセンスキーの有効期限について

ライセンスキーの有効期限は【3ヶ月】

のため、有効期限切れの直前または、有効期限切れ後にライセンスキーを更新（新規発行）する必要があります。有効期限間近になると楽天市場からもメールが届きますが、GoQSystemの受注管理画面上でもお知らせが表示されます。

GoQSystemの受注管理上にてお知らせを受け取るには、RMS上WEB APIにて、「LicenseManagementAPI(ライセンス管理API)」を「利用する」にしておく必要があります。RMSトップ画面 [店舗様向け情報・サービス] > [5 WEB APIサービス] > [2 利用設定] の [2-1 WEB API] > [利用機能一覧] の [利用機能編集] より利用設定をお願いいたします。

・有効期限が30日以内になった場合



**楽天市場1号店の楽天（受注取得API）WEB SERVICE
ライセンスキーの有効期限があと22日となっています。**

有効期限が切れると楽天APIの受注取得などが利用できなくなりますので、お早めに更新をお願いします。

[こちらのマニュアル](#)を参考にライセンスキーの更新作業を行なってください。

・有効期限が7日以内になった場合

 緊急なお知らせ

-  楽天市場1号店の楽天（受注取得API）WEB SERVICEライセンスキーの有効期限があと1日となっています。

有効期限が切れると楽天APIの受注取得などが利用できなくなりますので、お早めに更新をお願いします。
[こちらのマニュアル](#)を参考にライセンスキーの更新作業を行なってください。

・有効期限が切れた場合

 緊急なお知らせ

-  楽天市場1号店のライセンスキーの有効期限が切れています

楽天APIの受注取得などが利用できない状況ですので、更新をお願いします。

[こちらのマニュアル](#)を参考にライセンスキーの更新作業を行なってください。